

平成 29 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岩野田児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市栗野東1丁目95番地		
指定管理者名	社会福祉法人 中部学院福祉会		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,002,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:1,095.03㎡ ◇延床面積:532.42㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、図工室、おもちゃ図書館、事務室兼静養室、駐車場		

●利用状況

		H29上半期	H28下半期	H28上半期	H27下半期	H27上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	11,971	10,012	12,366	10,413	12,944
	移動児童館利用者数	1,213	904	1,409	1,573	1,849
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	21	22	24	25	23
	開館日数(単位:日)	157	151	157	151	156

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長(常勤・児童厚生員)、正規職員(常勤・児童厚生員)、嘱託職員(非常勤)2人 ③おたより月刊「わくわく」を毎月発行・配布、(小学校、公民館、自治会回覧、畜産センター、一部幼稚園・保育園、近隣のイベントホール)。イベントポスター掲示(近隣のコンビニ、郵便局、スーパー)、報道機関への情報提供、ホームページへの掲載。ブログに写真付きでのアップ。指定管理者の広報誌「済美学院報」に児童センターの活動を掲載。 ④匿名の電話やメール等には臨機に対応。利用者への普段の話しかけにより苦情やニーズを的確につかむよう心掛け、利用者アンケートを実施しその結果を、幼児クラブ等で口頭説明し館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①指定管理者(本部)連携のもと適切に実施。 ②日常清掃は毎日実行し、玩具は定期的に消毒し、破損等の点検を実施。週2回は、就労促進事業清掃班による清掃。 ③職員間で節電の意識を持ち、使用していない部屋の消灯、冷暖房節約、節水に努めた。牛乳パック・紙芯等廃材を行事の材料に利用した。 ④施設、備品等の点検は随時行う。玩具については破損がある場合おもちゃ病院での修理を依頼。屋外遊具の定期点検(年2回)実施。 備品購入・委託事業等は法人の経営する施設と一括することで経費の節減を図っている
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①大規模な修繕(遊戯室屋根雨漏り修繕)については、指定管理者(本部)及び市に要望を提出修繕。 ②簡易修繕(トイレタイル・ドア修繕、遊戯室壁合板修理、2階学習室床浮き直し修繕)については、指定管理者(本部)に相談し行った。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①～③適切に実施。 個人情報保護・非常時対応マニュアルを整備し、随時職員間での話し合いを持ち、年3回の利用者を交えた避難訓練を行い確認し合っている。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>○ 調査期間 平成29年8月下旬～9月上旬</p> <p>○ 調査対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児クラブ参加の保護者等(0歳児～3歳児の主に母親) ・小中学生(来館児童) <p>○ 回答者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児保護者86人(3歳以上18人、2歳20人、1歳35人、0歳13人) ・小中学生71人(小1年5人、小2年7人、小3年15人、小4年5人、小5年7人、小6年15人、中学生以上16人、未記入1人)
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>【幼児保護者に対して】</p> <p>○児童センターをどこで知りましたか？ 友人・知人の紹介(22人)、近所なので(19人)、ネット・HPを見て(12人)、外観通りすがり(7人)、兄弟の上の子が利用していた(6人)、保健師の紹介(2人)</p> <p>○児童センターを利用する目的は 子どもを遊ばせに(73人)、子育ての情報交換(20人)、ママ友づくり(19人)</p> <p>○ホームページを見ますか 見る(55人)、見ない(11人) ＝見ると答えた人＝ 問 HPの主はどこを見るか⇒月間行事予定、ブログ(活動内容)</p> <p>○幼児クラブで採り上げてほしいカリキュラムは リトミック(52人)、絵本・紙芝居(50人)、ボール遊び(48人)、体操(42人)、手遊び(39人)、粘土遊び(25人)、人形劇鑑賞(15人)、お楽しみ会 等</p> <p>○職員の態度や対応で気づくことは いつもやさしく、声をかけてくれて、相談にも乗ってもらえて助かってます。 子どもの名前を覚えてくださって、とても嬉しいです。親切で丁寧です。</p> <p>【小中学生に対して】</p> <p>○児童館で好きな遊びや楽しい行事は何 ドッジボール(25人)、夏まつり(16人)、卓球(15人)、バスケット(11人) 等</p> <p>○やってみたい遊びややってほしい行事は 鬼ごっこ(5人)、ボール遊び(5人)、バスケット(3人)、サッカー(3人)、一輪車(3人)、夏・冬まつり(3人)、ドッジボール大会(2人) 等</p> <p>○欲しいおもちゃや読みたい本は [ほしいおもちゃ] ポケモン、ミニオンズ、トミカ、すべり台、ブランコ [読みたい本] 漫画「トリコ」、ドラえもん、ワンピース、進撃の巨人、少女マンガ、「ギネス世界記録」の本、面白い本、こわい本</p> <p>○児童館職員やボランティアスタッフをどう思う ・やさしい。・話しやすい。・楽しい。・先生を増やしてほしい。・そんなにおこらないでほしい。・ボールを使えるようにしてほしい。</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>アンケート結果の集計表及び回答項目を館内に掲示し、利用者に周知した。事業への意見等、簡易な要望に対しては、順次スピーディに事業に反映。要望、問題点の指摘に対しては、「対応が可能、いつ頃」「対応は不可能、その理由」を明確にして、幼児クラブ等で保護者に口頭で説明するとともに、下記の回答を館内に掲示を行った。</p> <p><要望⇒回答></p> <p>① 駐車場をもっと広くしてほしい。⇒ 公式には9台、詰めれば13台以上の駐車が可能。他の児童館施設と比べても少なくない。園庭の構造上、改善は不可能。</p> <p>② 子ども用トイレがあるとうれしい。⇒ 多目的トイレの、子ども用トイレを使用して頂くようお願いします。</p> <p>③ 新しいおもちゃがほしい。⇒ 順次入れ替えるよう対応したいと思います。</p> <p>④ 児童館で弁当が食べられたらうれしい。⇒ 現在は土曜・日曜・祝日・学校の長期休みに昼食ができるように部屋を用意しています。</p> <p>⑤ ボールを使えるようにしてほしい。(15歳以上) ⇒ 中高生用の布ボールを準備し、使えるようにします。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	S	S	S
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>①子育て応援として ・幼児クラブ(2歳児クラス・1歳児クラス)を開催。アンケートの意見が反映するような活動を探り入れ、幼稚園訪問や遠足を実施した。また父親の子育て応援講座として中部学院大学短期大学部の先生を招いて「パパ友クラブ」を開催。夏には遊戯室南側屋外に遮光ネットを張り、未就園児に向けてプール遊びを開催。「水遊び用おむつパンツでも入れるから」と好評で去年より参加者が増えた。 ・0歳児教室は月1回開催。ネットで見たという方もあり、ベビーマッサージ・保健師の話等、毎回15～20組の参加で好評。 ②児童健全育成として ・「子ども運営委員会」を開催、「あそびクラブ」のクラブ員13人も参加し、設置した「意見ボックス」の意見を参考に遊びに採り入れる計画をたてる。 ・デイキャンプをながら川ふれあいの森(岩野田校区)で行う、小学生20人参加。今年度は昨年植えた「ギフチョウが好む植物・カンアオイ」近辺の清掃ボランティアを岐阜市農林園芸課と木の国(遠藤造林)との協働で行う。 ・平日の放課後、宿題を持参する小学生が増えて来たので、環境設定を整える。「宿題追い込みルーム」開設が良い影響を与えている。 ・畜産センター公園(常磐校区)で、同公園主催の「スプリングフェスタ」の協働事業として「青空児童館」を開催し、大学生ボランティア4人も協力、304人の参加。 ・小学生自主ボランティア隊「V・わくわく隊」の活動においては、高齢者施設訪問や夏まつり(お化け屋敷の準備を手伝う。高齢者施設訪問は大変喜ばれる。 ・入館カード記入時に荷物(特に自転車の鍵)を預かり、忘れ物等無いように声掛けを徹底している。</p> <p>③広域的な広報活動として、積極的に新聞・テレビなどマスメディアに情報を提供。 ・「パパ友クラブ」(ぎふチャン6・25放映、中日新聞6・29付け掲載) ・「宿題追い込みルーム」(ぎふチャン・CBCテレビ8・23放映中京テレビ8・25放映) (中日新聞・読売新聞・朝日新聞 8・24付け掲載、岐阜新聞29・8・25付け掲載)</p> <p>④地域活動として、 ・夏休み、幼児親子も小学生も楽しめるよう読み語り会「みみんちゃんキャラバン隊」(県の消費者教育実践事業の一環)を初要請し、47人の参加。 ・夏まつりを地域母親クラブの協力を得て行う。 ・夏休み最後8月29日、園庭で「夕涼み映画会」を開催。夕方から児童センターに来れるわくわく感もあり、111人も参加者があり、大盛況。 ・今年度初、放課後児童クラブ(川北ブロック)の指導員に制作遊びの指導を行う。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>・駐車場の件に関して、アンケートで毎回要望があるので、3台分を借り上げた。 ・土日祝日・学校長期休みにランチルームを開設しているため、弁当を入れる棚を設置し、水筒(ふた付ペットボトル)も含め置く場所を決めている、そのことが定着し始めていることも含め、机の台拭きや食事後の後片付け等、子どもたち自身で見守っている。 ・「宿題追い込みルーム」が良い影響になり、平日の宿題も気軽に出来るようにしている。 ・「デイキャンプ」を開催(ながら川ふれあいの森)恵まれた自然環境を生かした児童の野外活動として清掃ボランティアを行う。 ・畜産センター公園の要請により芝生広場での「青空児童館」を開催。 ・常磐小学校放課後児童クラブでの「移動児童館」要請があり積極的に取り組む ・放課後児童クラブ川北ブロックからの要請により制作遊びの指導を行う。 ・幼児クラブのカリキュラムの中で、「幼稚園の訪問・園児との交流」が好評。 ・父子対象「パパ友クラブ」を、今回は参加増加を期待し日曜開催とする。 ・地域のボランティア(母親クラブ)の協力を得て「夏まつり」(流しそうめん)を開催。 ・月刊「わくわく」3校区への配布に加え、自治会回覧で地域住民への浸透も図る。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>・外部講師(特に中部学院大学・中部学院大学短期大学部との連携)の関係性をさらに深め、子育て講座の取り組みを強化していきたい。 ・児童の学休日に開設している「ランチルーム」を幼児親子にも使いやすくする。 ・「放課後児童クラブ」指導員への、遊びの指導をさらに増やしていけるよう呼びかける。 ・宿題は平日でも持参しやすい環境をさらに整える。 ・小学生自主ボランティア隊「V・わくわく隊」の活動、特に「高齢者施設訪問」は大変期待され、児童にも良い経験なので回数を増やしたい。 ・利用者アンケートを今回は不満の声はなかったが、業務改善や利用促進の貴重な意見と捉え、不満・やや不満も含めて意見をもらえるような仕組みを考えたい。</p>

●所管課の意見

<p>児童センターの広報紙を担当小学校全児童に配布したほか、公民館、保育所、幼稚園、畜産センター等にも配置、イベント用ポスターは児童センターのほか、小学校、近隣スーパー、高齢者施設、一部幼稚園、保育園等多くの施設に設置を依頼した。また、マスコミやホームページなど多くの媒体を利用して積極的な広報を行った。 今年度も数多くの事業を継続的に実施していることは評価したい。 移動児童館について、積極的に実施し、上半期だけで21回開催されている。仕様書による目標数値の24回/年(平均2回/月)は達成が確実で、下半期も引き続き行って頂きたい。 小学生自主ボランティア隊「V・わくわく隊」による近隣道路の清掃活動や高齢者施設との交流、ながら川ふれあいの森の清掃活動のボランティア、畜産センター主催の「スプリングフェスタ」への移動児童館の参加など、地元との連携、交流や地元行事への参加によって、地元における児童センターの存在をアピールできた。 今期台風の接近が相次いだり、所管課との連絡調整による閉館・休館等の適切な対応と、利用者や学校への事前通知など自発的な安全対策により、利用者の安全を確保し、事故無く管理運営を行ったことを評価したい。 職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>移動児童館について、今期21回と積極的に開催されており、児童館の無い地域の利用促進に努めていることを評価したい。今まで実施してきた様々な事業や取り組みを、引き続き堅実にやっていることや、岩野田地区という立地の良さをしっかり生かし運営されていることが評価できる。 管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
--